



阿蘇市の医療について考える ～地域医療市民フォーラム～



パネルディスカッションの様子。

救急医療及び高度医療の充実など阿蘇市の医療の現状と課題について、医療従事者・行政・市民がそれぞれの立場から議論し、安心安全に暮らせる阿蘇市を創ることを目的とした「地域医療を考える市民フォーラム」（市主催）が12月11日、阿蘇いこいの村で行われ、約250名が参加しました。

講演では、熊本大学医学部附属病院特任教授 黒田豊氏が「かしこい医療のかかり方」と題し、全国、熊本県から見た阿蘇市の医療環境や、医療のかかり方について講話されました。

講演後には市民や医療関係者をパネラーにパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場からの意見や提言など、今後の阿蘇市の医療のあり方について熱い議論が交わされました。

日韓親善テコンドー選手権 阿蘇市で熱戦



熊本県テコンドー協会（樋口悦夫会長）が毎年阿蘇市で開催している熊本オープンテコンドー選手権大会が第4回目を迎え盛大に開催されました。今年もテコンドーの本場韓国から多くの選手が参加。韓国の選手と対戦できるとあって全国から選手が集い、総勢167名が12月5日、阿蘇体育館で熱戦を繰り広げました。本市の選手も健闘しました。

【結果は次のとおり（各部門表示省略）】

- 1位 富田大翔、森永修斗、山本悠菜、西村 純、津田ひかる
- 2位 住 大翔、米田 優
- 3位 住 日向、飛田愛斗、本田楓華、西村真利愛
- ☆ベストパフォーマンス賞 西村 純
- ☆優秀選手賞 津田ひかる、山本悠菜

住民それぞれの思い、出し合ってみることから 第1回「新町夜なべ談義」



開会の挨拶を行う白石区長

皆の知恵や工夫、アイデアを結集して、どこにもない新しい新町（内牧1区）づくりを考えようと、区長はじめ区民の人たちが集まり「夜なべ談義」が11月21日、公民館で行われました。

これは、「住みよいまちは自分たちで考えつくり出すもの」と、もっと気軽に意見を出し合える場を増やそうと企画されたもので、第1回目の話し合いから「イルミネーションを飾ろう」など多くの意見が出て盛り上がりしました。なお、第2回目は、1月14日（金）午後6時から、なみの高原やすらぎ交流館の望月館長を講師に迎え内牧1区公民館で行われます。どなたでも参加できるそうです。

九州新幹線全線開業に向け 頑張ってます！



平成21年2月に発足した「県旅連女将の会」。そのもとに阿蘇を含め県内14の地域女将の会があります。九州新幹線全線開業では“阿蘇観光が県内の観光をリードする”とあって、阿蘇内牧温泉ゆうすげ会（松岡エリ子会長）の皆さんも、広報活動やおもてなしの工夫など準備に大忙し。12月1日は、熊本県のCMに出演。阿蘇の宣伝活動に協力されました。